

# 2019年度通常総会議案書

---

一般社団法人 山梨県情報通信業協会

一般社団法人山梨県情報通信業協会

2019年度通常総会次第

日 時： 2019年6月7日（金） 16時から

会 場： ホテル談露館 2階 山脈

1 開会

2 会長挨拶

3 議事録署名人の選出

4 議事

第1号議案 2018年度事業報告及び  
2018年度収支決算書の承認について

5 報告事項

1) 2019年度事業計画及び収支予算書について

2) 2020年 ANIA 全国大会開催について

6 その他

7 閉会

## 【第1号議案】

### 2018年度事業報告（案）

自 2018年4月1日

至 2019年3月31日

#### 1. 概況

2018年度の我が国経済は、株価の上昇や好調な海外輸出と個人消費に支えられて比較的順調にスタートしましたが、米国と中国の貿易摩擦による影響が徐々に拡大し、中国の経済成長率が鈍化し結果的に世界経済を押し下げました。この影響から我が国の第4四半期はマイナス成長へ転換されたと報道されています。また、米国から日本に対する貿易交渉の流れも出ており先行きへの不安が大きくなった年度でした。一方人材採用面では、新しく就任した経団連会長が就職協定の無効化を宣言して就職活動に対する不安が増加した年度でもありました。

情報サービス産業は、IoT、AIの利活用が大きくクローズアップされた年でありました。IoTではセンサーの多様化、軽量化、低価格化により産業だけでなく生活のあらゆる場面（特に高齢者の見守りや健康管理の支援など）での活用事例が増えました。今後、センサーネットワーク（LPWA）の拡充による更なる見解が期待されます。AIは、導入の簡素化と低価格化により急速に普及し、特に画像解析の技術が進みセキュリティ分野への適用事例が増えています。

また、5Gの関係では総務省及び第5世代モバイル推進フォーラムによる仕様の確定が進められるとともにNTTドコモによる実験とソリューションへの検討が開始されました。

一方、主要SNSの国内の利用者数は年々増加傾向にあり、2018年の総務省の調査ではFACEBOOKが2,800万人、Twitterが4,500万人、LINEが7,600万人となっており今後も増加傾向にあります。これらを背景に、政府は、利用者（個人）の了解のもと個々人の購入情報や飲食等の情報を集めて企業に提供してビジネスに生かすための「情報バンク」の創設を検討しています。一方、利用者数の増加に伴うセキュリティのリスクも大きく、2018年9月に発生したFACEBOOKの個人データの流出は改めてセキュリティ（個人情報の管理）の難しさを印象付けました。

山梨県情報通信業協会は、会員各社からの要望が多かった採用面での活動に注力しました。インターンシップ事業では年度当初に学校訪問を行い（前年は夏）対象期間を長くすることにより受け入れやすい環境を作りました。さらに、県内に開校した専門学校にも参加していただき採用間口を広げました。また、外部団体であるANIA（一般社団法人全国地域情報団体連合会の略称でアニアと呼ぶ。全国の情報団体の上部団体）との関連を深め国への政策提言にも参加できるようになりました。また、従来から参加している広域首都圏情報団体協議会幹部会議を3月に山梨で開催して当協会及び山梨の理解を深めていただきました。

## 2. 通常総会・理事会

### 【通常総会】

期 日	内 容	会 場
2018年 6月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年度事業報告、収支決算承認について</li> <li>・2018年度事業計画、収支予算承認について</li> <li>・役員改選について</li> </ul>	ホテル談露館

### 【理事会】

期 日	内 容	会 場
2018年 5月24日	第1回理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年度通常総会議案書案承認について</li> <li>・新規会員入会について</li> </ul>	ホテルクラウンパレス甲府
2018年 7月26日	第2回理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・メトロ幹部会山梨開催について</li> <li>・平成30年度第1四半期収支報告</li> </ul>	ホテル談露館
2018年 9月4日	第3回理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テクノ ICT メッセ出展概要</li> </ul>	ホテル談露館
2018年 10月9日	第4回理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ANIA 青森大会報告</li> <li>・山梨県キャリアコンサルティング協会からの依頼事項</li> <li>・上期収支報告</li> </ul>	ホテルクラウンパレス甲府
2019年 1月31日	第5回理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度事業計画・予算作成スケジュール</li> <li>・ANIA 全国大会準備プロジェクト</li> <li>・女性活躍プロジェクト</li> <li>・広域首都圏幹部会出席者・議事案</li> </ul>	ホテル談露館
2019年 2月20日	第6回理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域首都圏幹部会概要案</li> <li>・ANIA 全国大会検討案</li> <li>・2019年度日程案</li> </ul>	ホテルクラウンパレス甲府
2019年 3月27日	第7回理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度事業計画案・収支予算案承認について</li> <li>・2020年 ANIA 全国大会概略計画について</li> </ul>	ホテルクラウンパレス甲府

### 3. 委員会活動

2018年度委員会事業報告まとめと、2019年度事業計画策定のための委員会を下記のとおり実施した。

委員会名	開催日	出席委員数
総務委員会	2019年2月13日	5名
企画委員会	2019年2月20日	4名
研修委員会	2019年2月22日	6名
事業委員会	2019年2月12日	5名

#### 1) 総務委員会（委員長：長坂副会長）

##### ① 会員の状況（2019年4月1日現在）

区分	期初会員数	新規加入数	退会数	期末会員数
正会員	57	1	1	57
賛助会員	6	0	0	6
特別会員	1	0	0	1
合計	64	1	1	64

退会 株式会社日本ソフトウェア特許開発（2019年3月31日付）

入会 株式会社アイティードゥ（2019年4月1日付）

##### ②理事会、定例会、総会の開催

Y S Aの運営のため、7回の理事会、総会の開催、会員への報告及び講演会開催のための定例会を開催した。

##### 【定例会講演】

7月26日 定例会 ホテル談露館（参加者 講演会59名、納涼会50名）  
演題 「IT業界の現状と今後（IT業界の働き方改革）について」  
講師 一般社団法人情報サービス産業協会（JISA）  
理事 手計 将美 氏

1月31日 新春セミナー ホテル談露館（参加者 講演会80名、交流会71名）  
演題 「関東経産局IoT・ロボットプロジェクト及び、平成31年度施策について」  
講師 関東経済産業局地域経済部次世代・情報産業課  
課長 室住 敬寛 氏

### ③外部団体との交流

情報サービス産業協会（J I S A）、広域首都圏情報団体協議会、全国地域情報産業団体連合会（A N I A）との交流を、会議及び委員会を通じ活発に行った。

#### ■広域首都圏情報団体協議会

2018年5月26日	首都圏三団体フットサル頂上決戦
2018年6月8日	第1回メトロエリア事務局会議 会場：犬吠埼ホテル
2018年11月16日	第2回メトロエリア事務局会議 会場：千葉県情報サービス産業協会
2018年10月26日	第19回メトロエリアグリーン会 会場：浜野ゴルフクラブ
2018年10月30日	合同ビジネス交流会 会場：ホテルモントレ半蔵門
2019年3月8日	メトロエリア幹部会 会場：ホテル談露館

#### ■全国地域情報産業団体連合会（A N I A）

2018年7月5日	A N I A総会 第1回事務局連絡会議
2018年9月27, 28日	A N I A全国大会（青森） 第2回事務局連絡会議
2018年11月30日	A N I A理事会（京都）

#### ■情報サービス産業協会（J I S A）

2018年6月12日	通常総会
2018年11月7, 8日	A S O C I O東京大会
2019年1月8日	賀詞交歓会

### ④会員間の親睦

2018年9月24日	Y S Aゴルフコンペ（参加者19名） 会場：境川カントリー倶楽部
------------	--------------------------------------

## 2) 研修委員会（委員長：鈴木理事）

### ① 一般社員研修

■新入社員研修（4月12日、13日 会場：人材開発センター）  
参加者：会員企業5社30名  
講師：山梨県人材開発センター 山田 圭太氏

## ② 高度 I C T 技術者研修

■ AI 顔認証システムセミナー (11 月 28 日 会場：人材開発センター)

参加者：27 名

講師：アヨニックス(株) 社長 サディ ヴェラル 氏

## ③ 視察研修

■ 塩尻市振興公社意見交換会 (10 月 18 日)

参加者：8 名

■ CEATEC JAPAN 見学会 (10 月 19 日)

参加者：13 名

## ④ 産学連携事業

■ 山梨大学工学部コンピュータ理工学科 3 年生

「ソフトウェア設計開発演習」(必須科目)への講師派遣(2018.10~2019.2)

会員企業 4 社から講師 5 名を派遣し、ソフトウェア制作に関する指導を行った。

## 3) 事業委員会(委員長：清水理事)

### ① 「山梨テクノ I C T メッセ 2018」への出展(2018 年 11 月 15 日~17 日)

■ I C T 相談コーナー(IT コーディネータ山梨)

■ 小学生向けプログラミング教室(スクラッチ使用)  
(山梨情報通信研究所)

■ パネル展示(山梨県安心安全見守りセンター)

### ② N P O 法人山梨情報通信研究所(山梨 I C L)との協働

■ 先進地視察

製造業・I C T-WG の事業として先進地視察研修を実施した。

2019 年 1 月 23 日~1 月 24 日

・参加者：製造業 6 名、N P O 3 名、山梨県 4 名、Y S A 5 名、その他 2 名  
合計 20 名

・視察企業

① (株)三友製作所

② (株)伊藤鑄造鉄工所

③ 茨城県産業技術イノベーションセンター

## ■アカデミックサロン

山梨ICLと共催で、山梨大学の先生を講師として4回の技術交流会を行った。

・第1回 2018年5月23日

「ゴム材料の力学特性とそのモデル化」 土木工学科 吉田純司氏

・第2回 2018年8月28日

「車運転ロボットにお任せ」 情報メカトロニクス工学科 丹沢勉氏

・第3回 2018年11月9日

「フェーズフリーについて」 土木環境工学科 秦康範氏

・第4回 2018年12月18日

「推論による仮説発見の自動化とその応用」 コンピュータ理工学科 山本泰生氏

## ■ITセミナー（県内一般企業情報担当者対象）を2回実施した。

講師はITC山梨 岩田氏、桑名氏

① 「Excelピボットを使いこなして生産性アップ」

実施日：2018年9月21日

参加者：16名

② 「データ分析を身近にするPower BI Desktop」

実施日：2019年2月28日

参加者：21名

## ③NPO法人「山梨県安心安全見守りセンター」への支援

### ■「ふれあいペンダント事業」の、各市町村のセンターへの加入促進を支援した。

加入市町村：甲府市、甲斐市、中央市、昭和町、韮崎市、北杜市、

市川三郷町、身延町、富士川町、南部町、早川町、大月市、丹波山村、小菅村、

道志村、都留市、南アルプス市、山梨市 18市町村

■加入数 2,340

## ④電気通信部会 CPD制度対応講習会の実施

### ■4K8Kテレビ受信機技術講習会

実施日：2018年7月20日

参加者：11名

講師：日本アンテナ(株) 齊藤 史朗 氏



#### 4) 企画委員会（委員長：中込副会長）

① ICT人材の確保のため、県内大学、専門学校に対し以下の事業を行った。

##### ■インターンシップ

昨年に引き続き、山梨県が推進する「ダイナミック山梨」の一環として、県内学校卒業者を県内企業へ就職を促すため、県からの委託事業として実施した。

今年度は、昨年の反省を踏まえ早期に学校訪問を行い、学生の確保に努めた。

- ・参加企業：12社
- ・参加学生：7校39名

##### ■業界紹介セミナー

県内の大学、専門学校への業界紹介と、採用者の体験報告を学生相手に行い、学生に対するICT業界への理解促進と、リクルート活動を行った。

2019年1月11日	山梨県産業技術短期大学校	参加学生：27名
2019年1月16日	山梨学院大学	参加学生：20名
2019年1月17日	都留文科大学	参加学生：2名
2019年1月18日	甲府商科専門学校	参加学生：32名
2019年1月25日	山梨大学	参加学生：2名
2019年2月8日	山梨県立大学	参加学生：4名
2019年2月12日	山梨英和大学	参加学生：10名
2019年2月18日	サンテクノカレッジ	参加学生：40名

##### ■ICT企業ガイダンス

例年通り解禁日が3月1日であるため、出来るだけ早い日程で実施した。

実施日：2019年3月14日

会場：ベルクラシック甲府

参加学生：8校 58名

参加企業数：20社

※今年は、事前登録学生81名に対し27名が欠席となった。また、実施日について3月のなるべく早い時期に実施し、大手就職斡旋業者等のガイダンスとバッティングしないよう調整したが、経団連の通年採用の動きもあり、実施時期については検討の必要がある。

②その他

##### ■5G勉強会

実施日：2018年6月12日

会場：人材開発センター

内容：5G概要及び導入事例紹介

参加者：21名

講師：NTTドコモ 宮本 薫 氏

## 【第1号議案】

## 2018年度収支報告(案)

自 2018年4月 1日

至 2019年3月31日

## 1. 事業別収支計算書

収入の部

(単位:円)

科目/事業名		2018年度予算	2018年度決算	差異	備考
会費収入	入会金	100,000	50,000	-50,000	
	年会費	5,800,000	5,670,000	-130,000	2018.4.1現在 正会員59社、賛助会員6社、特別会員1社
	特別会費	440,000	440,000	0	
	会費収入合計	6,340,000	6,160,000	-180,000	
事業収入	新入社員研修	300,000	300,000	0	参加者30名
	高度IT技術者研修	120,000	0	-120,000	参加費無しで実施(AIセミナー)
	賀詞交歓会	420,000	455,000	35,000	有料参加者65名
	情報交換会他	520,000	833,000	313,000	納涼会210k、ゴルフコンペ48k 理事会50k、外ロ幹部会525k
	ICT海外事情研修	1,440,000	0	-1,440,000	YSA立替金で処理
	展示会・視察研修	310,000	270,000	-40,000	CEATEC見学30k 先進地視察240k
	研修助成	0	0	0	
	資格取得研修	0	0	0	
	異業種交流事業	25,000	0	-25,000	
	ICT化促進事業	700,000	634,840	-65,160	産業支援機構受託事業
	事務受託事業	432,000	864,000	432,000	e-ラーニング4社
	事業収入合計	4,267,000	3,356,840	-910,160	
補助金収入	県	0	0	0	
	JISA	300,000	300,000	0	JISA地域高度化事業
	補助金収入合計	300,000	300,000	0	
受託事業収入	県	300,000	386,100	86,100	やまなし産学官連携人材育成事業
		0	0	0	
	受託事業収入合計	300,000	386,100	86,100	
負担金収入	事務負担金	1,650,000	1,650,000	0	見守りセンター営業支援金
	その他	0	0	0	
	負担金収入合計	1,650,000	1,650,000	0	
雑収入	受取利息	0	66	66	
	その他	0	5,000	5,000	ANIA旅費5k
	雑収入合計	0	5,066	5,066	
収入合計		12,857,000	11,858,006	-998,994	

## 支出の部

(単位:円)

	科目/事業名	2018年度予算	2018年度決算	差異	備考
事業費 研修事業	高度IT技術者研修	328,000	54,620	-273,380	謝金50k、室料
	新入社員研修	284,400	283,400	-1,000	謝金231k、昼食代36k、会場費16k
	新春セミナー	104,000	54,000	-50,000	会場費54k
	ICT事情視察研修	1,440,000	377,850	-1,062,150	海外視察旅費
	展示会・先進地視察	600,000	586,720	-13,280	展示会バス代106k、先進地視察バス代220k、 先進地宿泊費146k、先進地懇親会114k
	資格取得研修	0	9,104	9,104	CPD登録費
	階層別セミナー	0	0	0	
	研修事業合計	2,756,400	1,365,694	-1,390,706	
事業費 事業推進	ICT化促進事業	70,000	126,920	56,920	謝金120k、会場費11k
	企業ガイダンス	215,000	205,848	-9,152	会場費166k、印刷費40k
	合同交流会	25,000	0	-25,000	
	産学官連携事業	0	0	0	
	男女参画事業	0	0	0	
	連携プラットフォーム	210,000	40,000	-170,000	アカデミックサロン会場費(4回実施)
	テックICTメッセ	213,000	223,290	10,290	謝金60k、ブース代90k、印刷費44k、昼食代19k、パナー広告10k
	事業推進 (総会、定例会等)	2,472,200	3,084,707	612,507	総会693k、納涼会296k、賀詞交歓会415k、ゴルフコンペ104k、 委員会31k、外部団体82k、eラーニング734k、年賀広告65k、 外口幹部会582k
	県委託事業	106,000	115,180	9,180	印刷費16k、保険料99k
	事業人件費	1,250,000	1,287,306	37,306	
	事業推進合計	4,561,200	5,083,251	522,051	
	事業費合計	7,317,600	6,448,945	-868,655	
管理費	謝金	0	0	0	
	会議費	30,000	109,564	79,564	理事会106k、事務局7k
	使用料	320,000	349,122	29,122	ホスティングサービス259k、理事会90k
	消耗品費	60,000	36,142	-23,858	事務用品
	印刷製本費	0	0	0	
	旅費	200,000	147,686	-52,314	
	助成金	0	0	0	
	通信運搬費	310,000	228,398	-81,602	電話代71k、携帯代125k、郵便代32k
	支払手数料	310,000	308,772	-1,228	深澤事務所259k
	委託費	1,400,000	1,400,000	0	やまなし産業支援機構
	広告宣伝費	300,000	0	-300,000	
	受講料	0	0	0	
	雑費	0	36,120	36,120	印紙11k、
	社会活動費	100,000	61,200	-38,800	慶弔費
	管理人件費	1,210,000	1,420,390	210,390	
	管理福利厚生費	180,000	179,329	-671	
	備品購入費	0	0	0	
	負担金(加盟団体会費)	505,500	505,500	0	NPO見守りセンター10k、JISA246k、ANIA160k、地域ICT協議会20k、 ITC山梨12k、中央会48k
	租税公課	110,000	115,500	5,500	法人県民税22k、法人市民税54k、法人事業税9k 法人税29k、地方法人税1k
		管理費合計	5,035,500	4,897,723	-137,777
	支出合計	12,353,100	11,346,668	-1,006,432	
	当期収支差額	503,900	511,338	7,438	
	前期繰越収支差額	5,858,466	5,858,466	0	
	次期繰越収支差額	6,362,366	6,369,804	7,438	

## 2. 貸借対照表 2019年3月31日現在

(単位：円)

科 目	2018年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,758,637	5,033,466	-274,829
ANIA全国大会準備金	500,000		500,000
未収金	1,211,100	825,000	386,100
流動資産合計	6,469,737	5,858,466	611,271
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計			
(2) 特定資産			
特定資産合計			
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計			
固定資産合計			
資産合計	6,469,737	5,858,466	611,271
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
未払金	99,933		
流動負債合計	99,933		99,933
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計	99,933		99,933
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産	6,369,804	5,858,466	511,338
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	6,369,804	5,858,466	511,338
負債及び正味財産合計	6,469,737	5,858,466	611,271

3. 正味財産増減計算書 2018年4月1日 ~ 2019年3月31日

(単位:円)

科 目	2018年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	6,160,000	6,350,000	-190,000
事業収益	4,047,940	3,405,206	642,734
受取補助金等		600,000	-600,000
受取負担金	1,650,000	1,650,000	
受取寄附金			
経常収益計	11,857,940	12,005,206	-147,266
(2) 経常費用			
事業費			
人件費	1,287,306	1,243,795	43,511
謝金	461,300	553,100	-91,800
旅費	524,150	153,600	370,550
会議費	2,064,811	1,897,485	167,326
消耗品費	1,764	23,256	-21,492
印刷製本費	154,224	101,088	53,136
通信運搬費	1,773	205	1,568
使用料・賃借料	856,050	890,980	-34,930
負担金			
委託費			
受講料	734,400	367,200	367,200
助成金			
広告宣伝費	138,800	151,760	-12,960
雑費	219,367	155,503	63,864
支払手数料	5,000	10,324	-5,324
管理費			
人件費	1,599,719	1,379,922	219,797
旅費	147,686	145,335	2,351
会議費	109,564	26,100	83,464
謝金			
支払手数料	308,772	305,208	3,564
消耗品費	36,142	104,931	-68,789
印刷製本費			
通信運搬費	228,398	289,261	-60,863
使用料・賃借料	349,122	329,076	20,046
負担金	505,500	505,500	
事務委託費	1,400,000	1,400,000	
備品購入費			
社会活動費	61,200	60,000	1,200
広告宣伝費			
雑費	36,120		36,120
租税公課	115,500	84,700	30,800
経常費用計	11,346,668	10,178,329	1,168,339
評価損益等調整前当期経常増減額	511,272	1,826,877	-1,315,605
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
評価損益等計			
当期経常増減額	511,272	1,826,877	-1,315,605
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取利息	66	58	8
受取配当金			
経常外収益計	66	58	8
(2) 経常外費用			
固定資産売却損			
経常外費用計			
当期経常外増減額	66	58	8
当期一般正味財産増減額	511,338	1,826,935	-1,315,597
一般正味財産期首残高	5,858,466	4,031,531	1,826,935
一般正味財産期末残高	6,369,804	5,858,466	511,338
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
一般正味財産への振替額			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	6,369,804	5,858,466	511,338

4. 正味財産増減計算書内訳表 2018年4月1日 ~ 2019年3月31日

(単位：円)

科 目	実施事業等会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取会費	6,160,000				6,160,000
事業収益	2,797,840	1,250,100			4,047,940
受取補助金等					
受取負担金		1,650,000			1,650,000
受取寄附金					
経常収益計	8,957,840	2,900,100			11,857,940
(2) 経常費用					
事業費					
人件費	643,653	643,653			1,287,306
謝金	461,300				461,300
旅費	524,150				524,150
会議費	2,064,811				2,064,811
消耗品費	1,764				1,764
印刷製本費	98,496	55,728			154,224
通信運搬費	1,773				1,773
使用料・賃借料	652,730	203,320			856,050
負担金					
委託費					
受講料		734,400			734,400
助成金					
広告宣伝費	138,800				138,800
雑費	120,587	98,780			219,367
支払手数料	5,000				5,000
管理費					
人件費	1,220,888	378,831			1,599,719
旅費	111,567	36,119			147,686
会議費	82,768	26,796			109,564
謝金					
支払手数料	233,256	75,516			308,772
消耗品費	27,303	8,839			36,142
印刷製本費					
通信運搬費	172,539	55,859			228,398
使用料・賃借料	263,738	85,384			349,122
負担金	381,870	123,630			505,500
事務委託費	1,057,602	342,398			1,400,000
備品購入費					
社会活動費	46,233	14,967			61,200
広告宣伝費					
雑費	27,287	8,833			36,120
租税公課		115,500			115,500
経常費用計	8,338,115	3,008,553			11,346,668
評価損益等調整前当期経常増減額	619,725	-108,453			511,272
基本財産評価損益等					
特定資産評価損益等					
投資有価証券評価損益等					
評価損益等計					
当期計上増減額	619,725	-108,453			511,272
2. 経常外増減の部					
(1) 計上外収益					
受取利息		66			66
受取配当金					
経常外収益計		66			66
(2) 計上外費用					
固定資産売却損					
経常外費用計					
当期経常外増減額		66			66
当期一般正味財産増減額	619,725	-108,387			511,338
一般正味財産期首残高	5,988,743	-130,277			5,858,466
一般正味財産期末残高	6,608,468	-238,664			6,369,804
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
受取補助金等					
一般正味財産への振替額					
当期指定正味財産増減額					
指定正味財産期首残高					
指定正味財産期末残高					
<b>III 正味財産期末残高</b>	6,608,468	-238,664			6,369,804

## 5. 財産目録

2019年3月31日現在  
(単位:円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
普通預金	
山梨中央銀行城南支店	4,758,637
ANIA全国大会準備金	500,000
未収金	1,211,100
流動資産合計	6,469,737
資産合計	6,469,737
II 負債の部	
1. 流動負債	
預り金	0
未払金	99,933
流動負債合計	99,933
負債合計	99,933
III 正味財産の部	
正味財産合計	6,369,804
負債及び正味財産合計	6,469,737

## 6. 計算書類に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 資金の範囲について

資金の範囲については、現金・預金・未払金・預り金を含めている。

#### 2 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	金 額
普通預金	4,758,637
ANIA全国大会準備金	500,000
未収金	1,211,100
未払金	99,933
預り金	0
合計	6,369,804
次期繰越収支差額	6,369,804

## 2019年度事業計画

自 2019年4月1日

至 2020年3月31日

### 1 業界を取り巻く情勢と基本認識について

#### ■DXのさらなる進展

日本経済は長く続いた好調の波が減少傾向との見方が出る中で、米中の貿易摩擦や英国のEU離脱など経済へ懸念される材料があり非常に不安定と言わざるを得ません。一方、山梨県においては新しく長崎知事が就任され、若く新しい視点で県政が始動されることになりYSAにおいても明るく希望の持てる展望を期待したいと思えます。

ICT産業は、IoT、AIの分野が技術進歩により低価格化と導入の簡便性が進み急速に多くの産業や生活に浸透しております。今年度もこの流れはさらに加速すると思えます。また、来年度に迫ったオリンピック/パラリンピックへの対応、5G（第5世代移動通信）の今年度で実用化に向けた実験の開始とSNSの利用の高度化や新たなビジネスモデルの創出、2027年に開業するリニア新幹線への活用等が期待されます。さらに、2025年に開催される大阪万博では世界に向けて日本の最新技術をアピールするための研究開発が進展すると思えます。現状に満足するだけでなく広い視野で先行する技術動向に目を向けることが大切です。

#### ■働き方改革への対応

少子高齢化への対策として働き方改革関連法が今年度4月より実施されています。関連する法律の範囲は広いが、まずは労働環境、特に労働時間の短縮が求められています。このため、労働基準法の改正による時間外労働の上限規制、年次有給休暇の使用者時季指定の義務化、高度プロフェッショナル制度の創設、また、2020年度からは労働者派遣法、労働契約法、短時間労働者法の改正による同一労働同一賃金が施行されます。これまで情報サービス業や通信業は労働環境の面から比較的敬遠され易い産業でしたが、働き方改革を推進し魅力ある職場環境を作ることにより効果的採用活動を進めることができると思えます。また、雇用している従業員の定着率の向上にもつながると考えます。当産業ではオンサイト業務の受注もあることから会員企業だけでなく顧客の理解を得ることも非常に重要です。

当協会ではこれらの状況を踏まえ、「女性活躍推進プロジェクト」を総務委員会の中に発足させ、女性が働きやすい環境を女性の視点で考えていくこととしました。プロジェクトでは、会員会社の女性メンバーで運営して頂き現状認識と課題の把握を行い、セミナーの実施等により現実的な対応策を検討して「働きやすい職場を作る」ことを目指します。

#### ■ANIA全国大会への準備委員会設立

2020年秋にANIA（一般社団法人全国地域情報産業団体連合会）の全国大会が山梨で開催されることが決まりました。大会では全国から300名以上の情報産業団体の幹部の方々及び総務省、経済産業省の幹部の方々が参加される見込みです。詳細はこれから決めることとなりますが当協会はホスト協会として大会実行の準備と円滑に運営を担当するため、会長直轄で実行委員会を設けました。会員各位のご理解とご協力をお願いいたします。



## 2 委員会活動

従来通り、総務委員会、研修委員会、事業委員会、企画委員会の4常任委員会を配置し、下記重点方針に沿った活動を行う。

委員会活動は全員参加の相互扶助的な活動を推進していくべきであるが、従来の活動は個人の力量によるところが多くあった。これを避けるべく、数年前から全員参加の活動をめざしたが、実現には至っていない。本年度は、少しでも目指すべき活動に近づけるよう、各委員会で検討を行っていく。

また、IT技術の発展によりこれを活用したデジタルビジネスの環境変化やICT産業の社会的使命感を認識し、活動の成果をYSA内部のみでなく他産業へ広げていくことを目指す。

委員会活動の重点方針は以下とする。

- 会員がメリットを感じる事業の実施
- 産学官連携による、成長産業へのICT活用促進をはかる
- 高度情報技術、経営管理能力を備えた人材の育成に力を注ぐ
- ICT産業の社会的使命、CSRの推進をはかる
- 一般社団法人として、県民への啓もう活動、公益事業を推進する
- 協会の広報活動を強化する
- 会員相互の連携強化をはかる工夫をする

### (1) 総務委員会

総務委員会は、会員企業間の人的交流や、会員への情報提供、ビジネス機会の創出に努め、会員企業がメリットを感じるとともに、運営に参加できる環境を整えていく。

本年度は、会員間の交流・親睦に力点を置き、政府が進める「働き方改革」の啓蒙や女性のみで構成した「女性活躍プロジェクト」を発足させ女性が活躍するための職場環境等について検討していく。

また、当協会の活動内容を周知啓蒙する広報活動や社会貢献活動への取り組みを行っていく。

#### 【主な実施項目】

- ① 会員の加入促進
  - ・加入にあたってのメリットを明確にして、新規会員獲得の取り組みを行う。
- ② 会議開催
  - ・通常総会(6/7)、賀詞交歓会(1/31)、情報共有のための定例会の開催。
  - ・会員のニーズにそった定例会の開催。
- ③ 会員間の親睦
  - ・親睦を深めるためのスポーツ大会等の開催(6月～7月)。
  - ・納涼会(7/26)、ゴルフコンペ(9/16)

- ・セミナー開催（働き方改革、人事・労務問題）
- ・女性活躍プロジェクト企画・推進。

#### ④ 外部機関・団体との交流事業の推進

- ・JISA（情報産業協会）、メトロ（広域首都圏情報団体連絡協議会）、ANIA（全国地域情報産業団体連合会）、他県の情報サービス産業協会の擬態的な活動報広報及び、会員への活動の参加推進。今後外部団体の理解を深める活動の及び参加促進。

#### ⑤ 会計・会務の健全化

- ・事務運営の円滑化を図り、会務の健全運営に取り組む。

## （２）企画委員会

企画委員会では、IT関連の人材不足に対応するため、県事業に呼応して、県内教育機関や就業支援の組織に対し、積極的にアプローチと連携をとりながら事業を行い、ICT人材の発掘確保を行う。

インターンシップに関しては、3日間の実施について学生の参加が容易なように、夏期休暇を中心に実施していく。さらに、業界紹介セミナー、企業ガイダンスについては、近年の売り手市場のため、参加学生が大きく減少している。学校、参加企業の意見を聞きながら、より良い実施時期・方法を検討していく。

広報活動として、従来から行っている国・県が行う補助金等への応募のための情報を年間を通じて提供を行う。

昨年度は実施できなかったが、YSAの理念や活動内容等の認知度向上のため、メディアを通じて広報していくことを継続して検討する。また、SNSを活用し、YSAの施策、行事などを積極的に発信していく。

### 【主な実施項目】

#### ① ICT人材の確保

- ・YSA独自のインターンシップ。（夏期休暇を中心に実施）
- ・業界紹介セミナー。（各学校へ会員企業社員を派遣し、ICT企業の魅力を伝える）
- ・企業ガイダンス。（YSA主催）

#### ② 広報活動

- ・国・県が行う、補助金等の情報提供及びフォロー。  
（JISA、ANIA、山梨県地域ICT推進協議会、山梨県IoT推進ラボ）
- ・YSA認知度向上のための、メディア活用の検討。
- ・SNS（Twitter、facebook）を活用した情報の発信。

## （３）研修委員会

昨年に引き続き階層別技術研修については、参加者数の減少など、会員ニーズ等の不一致により実施は見送る。

今年度は最新の技術や、関心の高い課題についてタイムリーにセミナー等を実施する。

また、近隣の団体との交流を行い、I T関連の最新情報と技術を共有していく。

#### 【主な実施項目】

- ① 新入社員研修
  - ・会員企業合同新入社員研修会。（4月9日、10日）
- ② 中堅技術者研修
  - ・高度I T技術者研修（無線、I o T、A I）のセミナー。
- ③ 産学官連携事業
  - ・システム開発演習として山梨大学コンピュータ理工学科への講師派遣。
- ④ 見学・技術交流
  - ・展示会見学。（C E A T E C J A P A N等）
  - ・近隣団体との交流。（広域首都圏団体の研修担当との交流）

#### （4）事業委員会

事業委員会では、県内成長分野におけるI C T利活用促進を行う。

主な活動は、山梨テクノI C Tメッセへ協賛団体として参加し来場者へのI C T活用の啓蒙、N P O法人山梨情報通信研究所（yicl）と密に連携を取り、製造業・農業へのI C T導入、児童を対象としてプログラミング研修等を協働して実施する。

また、電気通信部会では、C P D制度対応の技術研修など、県の考えに沿った講座の実施を検討していく。

#### 【主な実施項目】

- ① 山梨テクノI C Tメッセへの出展
  - ・出展会員企業増のための施策の検討。
  - ・来場者に対するI C T利活用の啓蒙。
- ② 成長産業I C T化促進事業
  - ・事業についてN P O法人山梨情報通信研究所と協同及び支援。  
アカデミックサロン（大学との共同開発事業）
  - ・I C T活用先進地視察を行い、事業の参考とする。
  - ・講習会、セミナー等を通じて他産業・自治体へのI C T利活用推進。  
教員方等対象I C T学習会（スクラッチ・プログラミング等講習会）
- ③ 電気通信部会の活動推進
  - ・C P D制度対応の技術研修や資格取得講座の実施。  
取得条件などを調査し実施に向け、検討する。

## (5) 事務局関係

効率化を図りながら、事務局業務の強化及び関係機関等との連携強化を図る。

### 【主な実施項目】

- ①事業推進 理事会で承認された各委員会事業の支援
- ②情報提供 関連情報の収集と会員企業に対する情報提供の実施  
ホームページの更新及び運営、協会 PR 活動
- ③会議開催 理事会、総会の開催
- ④外部団体 関連団体（J I S A、広域メトロ、AN I A）との交流窓口

#### ■ J I S A（一般社団法人 情報サービス産業協会）

・全国の情報サービス産業約600社で構成された、国内最大の情報サービス産業団体で、情報サービスに係る事業の基盤整備等を通じ、情報サービス産業の健全な発展を図るとともに、我が国の情報化を促進し、もって経済・社会の発展に寄与することを目的としています。

#### ■ AN I A（一般社団法人 全国地域情報団体連合会）

・全国北は北海道から南は九州までの各県の情報通信産業団体の22正会員と中央の特別会員団体、そして賛助会員企業から構成されており、地方の会員企業数はおよそ2,000社の連合会組織です。

地域の情報通信産業の発展のため、また情報通信インフラの整備や未来の社会づくりのための活動を行っております。

#### ■ 広域メトロ（広域首都圏情報団体連絡協議会）

・7都県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、福島県、山梨県）の情報産業団体で構成され、主に各都県の活動の情報交換や会員相互の交流を行う事を目的として組織されました。

### 3 2019年度収支予算

#### (1) 事業別収入

(単位:円)

科目/事業名		2019年度 予算	2018年度 決算予想	増減	2018年度 予算	備考
会費収入	入会金	100,000	50,000	50,000	100,000	新規加入2社
	年会費	5,740,000	5,670,000	70,000	5,800,000	既加入568万円、新規6万円
	理事特別会費	470,000	440,000	30,000	440,000	理事会特別会費
会費収入合計		6,310,000	6,160,000	150,000	6,340,000	
事業収入	新入社員研修	310,000	300,000	10,000	300,000	参加者31名
	高度IT技術者研修	0	0	0	120,000	0
	賀詞交歓会	455,000	455,000	0	420,000	7,000円×65名
	情報交換会他(参加費)	380,000	833,000	-453,000	520,000	納涼会5,000円×60名 ゴルフコンペ5,000円×16名
	ICT事情視察研修	0	0	0	1,440,000	
	展示会・視察研修	255,000	270,000	-15,000	310,000	展示会3,000円×10名 先進地15,000円×15名
	研修助成	0	0	0	0	0
	資格取得研修	0	0	0	0	0
	異業種交流事業	25,000	0	25,000	25,000	合同交流会5名
	ICT化促進事業	650,000	634,840	15,160	700,000	やまなし産業支援機構 情報通信活用促進事業
	事務受託事業	828,000	864,000	-36,000	432,000	e-ラーニング4社
	産学官連携事業	0	0	0	0	0
	事業収入合計		2,903,000	3,356,840	-453,840	4,267,000
補助金収入	県	0	0	0	0	0
	JISA	300,000	300,000	0	300,000	地域高度化事業
補助金収入合計		300,000	300,000	0	300,000	0
受託事業収入	県	300,000	386,100	-86,100	300,000	やまなし産学官連携人材育成事業
		0	0	0	0	0
受託事業収入合計		300,000	386,100	-86,100	300,000	0
負担金収入	事務負担金	1,390,000	1,650,000	-260,000	1,650,000	安心安全見守りセンター 営業支援金
	その他	0	0	0	0	0
負担金収入合計		1,390,000	1,650,000	-260,000	1,650,000	0
雑収入	受取利息	0	66	-66	0	0
	その他	0	9,000	-9,000	0	0
雑収入合計		0	9,066	-9,066	0	
合計		11,203,000	11,862,006	-659,006	12,857,000	

## (2) 事業別支出

(単位:円)

科目/事業名		2019年度 予算	2018年度 決算予想	増減	2018年度 予算	備考
事業費 研修事業	高度IT技術者研修	55,000	54,620	380	328,000	謝金、会場費
	新入社員研修	286,400	283,400	3,000	284,400	謝金、会場費、昼食代
	新春セミナー	104,000	54,000	50,000	104,000	謝金、会場費
	ICT事情視察研修	120,000	377,850	-257,850	1,440,000	ANIA大会参加費等
	展示会・先進地視察	640,000	586,720	53,280	600,000	バス代、会議費、宿泊費
	資格取得研修	0	9,104	-9,104	0	
	階層別セミナー	0	0	0	0	
	研修事業合計	1,205,400	1,365,694	-160,294	2,756,400	
事業費 事業推進	ICT化促進事業(CIO研修)	130,000	130,920	-920	70,000	謝金、会場費
	企業ガイダンス	210,000	205,848	4,152	215,000	会場費、印刷費
	合同交流会	25,000	0	25,000	25,000	参加費
	産学官連携事業	0	0	0	0	
	女性活躍プロジェクト	350,000	0	350,000	0	謝金、会場費、会議費
	連携プラットフォーム	50,000	40,000	10,000	210,000	使用料
	テクノICTメッセ	240,000	223,290	16,710	213,000	謝金、出展料、展示パネル印刷代 昼食代
	事業推進 (総会、定例会等)	2,634,800	3,084,707	-449,907	2,472,200	総会・納涼会・賀詞交歓会、委員会 スポーツ大会、e-ラーニング 広域メロ
	県委託事業	120,000	115,180	4,820	106,000	インターンシップ(学生傷害保険、印刷費)
	事業人件費・福利厚生費	312,000	1,244,331	-932,331	1,250,000	
	事業推進合計	4,071,800	5,044,276	-972,476	4,561,200	
事業費合計		5,277,200	6,409,970	-1,132,770	7,317,600	
管理費	謝金	0	0	0	0	
	会議費	100,000	109,564	-9,564	30,000	理事会費
	使用料	350,000	349,122	878	320,000	ホスティングサービス270k 理事会80k
	消耗品費	50,000	36,142	13,858	60,000	事務用品等
	印刷製本費	0	0	0	0	
	旅費	120,000	138,029	-18,029	200,000	
	助成金	0	0	0	0	
	通信運搬費	310,000	228,398	81,602	310,000	
	支払手数料	310,000	308,772	1,228	310,000	会計事務所260k,手数料50k
	委託費	1,400,000	1,400,000	0	1,400,000	産業支援機構
	広告宣伝費	0	0	0	300,000	0
	受講料	0	0	0	0	
	雑費	0	36,120	-36,120	0	
	社会活動費	100,000	61,200	38,800	100,000	慶弔費
	管理人件費	1,500,000	1,373,089	126,911	1,210,000	
	管理福利厚生費	42,000	179,329	-137,329	180,000	
	備品購入費	0	0	0	0	
負担金	505,500	505,500	0	505,500	加盟団体年会費	
納税準備金	120,000	115,500	4,500	110,000	県、市法人住民税、法人税	
	管理費合計	4,907,500	4,840,765	66,735	5,035,500	
ANIA大会準備金		500,000	500,000	0	0	
合計		10,684,700	11,750,735	-1,066,035	12,353,100	

## (3) 正味財産増減計画書

2019年4月1日～2020年3月31日

(単位:円)

	2019年度	2018年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費	6,310,000	6,160,000	150,000
事業収益	2,903,000	3,356,840	-453,840
その他収益	1,990,000	2,345,166	-355,166
経常収益計	11,203,000	11,862,006	-659,006
(2) 経常費用			0
事業費	5,277,200	6,409,970	-1,132,770
人件費	312,000	1,244,331	-932,331
謝金	860,000	461,300	398,700
旅費	310,000	524,150	-214,150
会議費	1,525,000	2,064,811	-539,811
消耗品費	0	1,764	-1,764
印刷製本費	140,000	154,224	-14,224
通信運搬費	0	1,773	-1,773
使用料・貸借料	1,077,400	860,050	217,350
負担金			0
委託費	0	0	0
受講料	703,800	734,400	-30,600
助成金	0	0	0
広告宣伝費	74,000	138,800	-64,800
雑費	275,000	219,367	55,633
支払手数料	0	5,000	-5,000
管理費	4,907,500	4,840,765	66,735
人件費	1,542,000	1,552,418	-10,418
旅費	120,000	138,029	-18,029
会議費	100,000	109,564	-9,564
謝金	0	0	0
支払手数料	310,000	308,772	1,228
消耗品費	50,000	36,142	13,858
印刷製本費	0	0	0
通信運搬費	310,000	228,398	81,602
使用料・貸借料	350,000	349,122	878
負担金	505,500	505,500	0
事務委託費	1,400,000	1,400,000	0
備品購入費	0	0	0
社会活動費	100,000	61,200	38,800
広告宣伝費	0	0	0
雑費	0	36,120	-36,120
租税公課	120,000	115,500	4,500
経常費用計	10,184,700	11,250,735	-1,066,035
当期経常増減額	1,018,300	611,271	407,029
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
準備金			
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,018,300	611,271	407,029
一般正味財産期首残高	6,469,737	5,858,466	611,271
一般正味財産期末残高	7,488,037	6,469,737	1,018,300
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高	7,488,037	6,469,737	

## (4) 貸借対照表

2020年3月31日予想

(単位：円)

科 目	2019年度予算	2018年度	増 減
I 資産の部			0
1. 流動資産			0
現金預金	5,793,037	4,758,637	1,034,400
未収金	695,000	1,211,100	-516,100
ANIA全国大会準備金	1,000,000	500,000	500,000
流動資産合計	7,488,037	6,469,737	1,018,300
2. 固定資産			0
(1) 基本財産			0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			0
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	7,488,037	6,469,737	1,018,300
II 負債の部			0
1. 流動負債			0
預り金			
未払金			0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			0
1. 指定正味財産			0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)			0
(うち特定資産への充当額)			0
2. 一般正味財産	7,488,037	6,469,737	1,018,300
(うち基本財産への充当額)			0
(うち特定資産への充当額)			0
正味財産合計	7,488,037	6,469,737	1,018,300
負債及び正味財産合計	7,488,037	6,469,737	1,018,300



## 【報告事項 2】

### ■ AN I A（全国地域情報産業団体連合会）全国大会開催について。

AN I Aからの要請により、2019年3月のY S A理事会にて、2020年のAN I A全国大会（第41回全情連大会「AN I A山梨大会」）の開催が決定されました。

本大会は、AN I Aに加盟する地域情報団体が毎年持ち回りで開催するもので、山梨が未実施の団体としては最後になります。

これにより、理事会メンバーによる実行委員会を立ち上げ実務を進めていきますので、会員皆様のご協力をお願いいたします。

#### <実施案>

1. 開催日 2020年9月10日（木）、11日（金）
2. 場 所 甲府市内ホテル予定
3. 大会次第（概略）

9月10日	・ AN I A全国大会
	・ 講演会
	・ 懇親会
9月11日	・ エクスカーション